

令和6年度
事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業

1-1 経営サポート・新事業支援事業

(1) 経営実践セミナー等の開催

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、喫緊の経営課題解決に取り組む事業者及び新たに起業する事業者等に向け、集客・販路開拓や起業に関する実践的なセミナーを実施した。

1) 「起業応援セミナー(実践スキルアップ編)」(全5回/夜間10時間)

ー夢を具体的な目標に!“起業する際に大切なポイント”を5回で学ぶセミナーー
プログラム

- ・ 起業アイディアをビジネスモデル・キャンバスで可視化する
- ・ 顧客を分析しビジネスモデル・キャンバスをアップデートする
- ・ 起業資金計画と経営に重要な数字を理解し経営目標を設定する
- ・ マーケティングの基礎を理解し販促計画を設計する
- ・ デジタルを活用した集客方法を理解する

<6月期>

- ・ 実施日：令和6年6月13日、6月20日、7月5日、7月12日、7月18日
- ・ 講師：庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・ 受講者：16人(延 52人)

<10月期>

- ・ 実施日：令和6年10月3日、10月10日、10月25日、11月1日、11月7日
- ・ 講師：庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・ 受講者：12人(延 43人)

<2月期>

- ・ 実施日：令和7年2月6日、2月13日、2月21日、3月7日、3月14日
- ・ 講師：庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・ 受講者：14名(延 62人)

2) 「SNS集客実践会」(山形県よろず支援拠点との連携事業)

ービジネスの課題は学び・実践・共有で解決ー

* 3) 産業支援機関等連携推進の実施」に記載)

3) 産業支援機関等連携推進の実施

産業支援機関、金融機関等との連携により、それぞれの特徴を活かしたセミナー・相談会を共催し、企業支援を行った。

① 「SNS集客実践会」(山形県よろず支援拠点との共催)

ービジネスの課題は学び・実践・共有で解決!ー

<第1回>

- ・ 実施日：令和6年7月30日、8月28日、9月20日
- ・ 講師：山形県よろず支援拠点コーディネーター 我孫子 勝弘 氏
- ・ 参加者：20人(延49人)

<第2回>

- ・実施日：令和6年10月4日、10月29日、11月21日
- ・講師：山形県よろず支援拠点コーディネーター 我孫子 勝弘 氏
- ・参加者：24人（延60人）

②「購入型クラウドファンディング実践会」(鶴岡信用金庫との共催)

- ・実施日：令和6年8月2日、8月9日、9月3日、9月27日、10月15日
- ・講師：株式会社マクアケ 執行役員 松岡 宏治 氏（8/9、10/15）
庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー
山形県よろず支援拠点コーディネーター 我孫子 勝弘 氏
- ・参加者：9人（延31人）

③「経営課題相談会」(鶴岡信用金庫との共催)

販路拡大、事業承継、補助金活用等の経営課題解決のため支援機関による個別相談会を行った。

- ・実施日：令和7年2月19日
- ・支援機関：山形県よろず支援拠点、山形県事業承継・引継ぎ支援センター、山形県発明協会、鶴岡商工会議所、出羽商工会、
- ・相談者(件数)：10社（15件）

5)「起業・ビジネス夜間相談会」

- ・実施日：令和6年8月～令和7年1月（月1回／6回開催）
- ・相談員：日本政策金融公庫 酒田支店（融資担当）
庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
- ・参加者：14人

(2) 改善指導アドバイザーによる製造業の生産改善相談・指導

1) ものづくり生産改善指導

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企業訪問によるヒアリング等は行わず、相談があった企業に対するアドバイス・指導を行った。

＊（「1-2(2) 起業・ビジネス相談室の運営・ものづくり革新支援」に記載）

(3) 地域企業による改善活動事例発表会の開催

「第16回私のかいぜん発表会」

ものづくり企業が日頃から取り組んでいる改善活動の事例発表を通じて、お互いに交流を深め、切磋琢磨し、業務改善に対する意識向上を目的に開催した。

- ・実施日：令和6年11月16日
- ・内容：地域企業7社（7チーム）による日頃のかいぜん事例の発表と交流会
- ・参加者：発表会 28社 190名、交流会 20社 80名

1-2 起業家育成施設入居事業者・創業予定者等への経営相談・助言

(1) 起業家育成施設の入居状況（令和7年3月31日現在）

〔入居事業者〕 新規入居事業者 1社、退去事業者（使用期間満了） 1社

貸室		事業者名	代表者	業務内容
A	25㎡	日本国不動産（同）	安達 忠芳	不動産取引業

B	15 m ²	fiKa(同) く〜たも相談室	今泉 香奈子	障害福祉サービス
		鈴木司法書士事務所	鈴木 敦	司法書士
		Inside Tsuruoka	岡部 浩美	外国人観光通訳
C	30 m ²	NP0 法人やまごや	平向 正包	医療・福祉

起業家育成のため、インキュベーションマネージャーが日頃から入居事業者とコミュニケーションを図り、それぞれの課題に対し側面的な支援を行っている。

(2) 起業・ビジネス相談室の運営

山形県よろず支援拠点と連携し、「創業・起業」「ものづくり革新」「Webビジネス」の各支援をはじめ、事業者の販路開拓・商品開発、新たな事業への挑戦などの経営課題に対し、相談・助言サービスや販路開拓・ビジネスプラン作成支援など、地域中小企業・小規模事業者の成長・発展をサポートした。

- ・ 起業・経営支援 具体的な事業構想を持ち、創業・起業をめざす方への支援
相談者数：48人、相談件数：76回
特定創業支援を行った事業者：10人
- ・ ものづくり革新支援 生産現場の改善・品質向上を図ろうとしている製造業への支援
相談件数：1社、企業訪問：20社（36回）
研究開発プロジェクト＊：1件
＊（「3-2 成長型中小企業等研究開発支援事業」に記載）
- ・ Webビジネス支援 販路開拓、SNS活用等で集客や売上増をめざす企業等への支援
相談件数：1,024件（山形県よろず支援拠点庄内サテライト実績）

(3) コワーキングスペース鶴岡「エキイチ」の運営

当地域における起業の促進を目的に、起業家やクリエイター、フリーランス等のコミュニケーション・ネットワーク形成のオープンワークスペースとして、鶴岡市起業家育成施設内に開設したコワーキングスペースを運営し、起業家への育成・支援を行った。

- ・ 登録会員数：145人
- ・ 総利用回数：777人（登録会員等 580人、ドロップイン 119人、同伴者 78人）

2 産業人材育成事業

2-1 ものづくり中核人材育成事業（鶴岡市産業ひとつづくり支援事業）

(1) 品質管理・生産改善研修の開催

品質の良い製品を安定的に生産するために有効な品質管理の手法や、生産管理、製造現場の改善等、生産性向上に関する講座を実施した。

① 「なぜなぜ分析・問題解決」

- ・ 実施日：令和6年6月7日（6時間）
- ・ 講師：TPSコンサルタント 根岸 進氏
- ・ 受講者：15名

② 「品質管理基礎講座」

- ・ 実施日：令和6年7月10日（6時間）
- ・ 講師：QCサークル本部講師/指導員 石原 道明氏
- ・ 受講者：13名

- ③「現場管理のモノサシ」
 - ・実施日：令和6年7月12日（6時間）
 - ・講師：TPSコンサルタント 根岸 進 氏
 - ・受講者：3名
- ④「品質管理実践講座」
 - ・実施日：令和6年8月21日（6時間）
 - ・講師：QCサークル本部講師/指導員 石原 道明 氏
 - ・受講者：7名
- ⑤「改善魂のある職場づくり研修」
 - ・実施日：令和6年10月22日（6時間）
 - ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
 - ・受講者：9名
- ⑥「ヒューマンエラー対策セミナー」
 - ・実施日：令和6年11月26日（6時間）
 - ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
 - ・受講者：16名
- ⑦「5S推進研修」
 - ・実施日：令和6年11月27日（6時間）
 - ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
 - ・受講者：11名

2-2 職業能力開発講座事業（鶴岡市産業ひとづくり支援事業）

（1）職業能力開発講座の開催

次世代の地域産業を支える人材の確保と育成を図り、地域における職業能力開発及び経営人材の開発を目的に、職業に必要な技術、技能および知識を習得するための各種の教育訓練や研修を実施した。

1）階層別講座（4講座）

- ①「職場リーダー研修」
 - ・実施日：令和6年7月4日・5日 全2回（14時間）
 - ・講師：(株)Five V a i 宮本 明憲 氏
 - ・受講者：19名
- ②「中堅社員研修」
 - ・実施日：令和6年8月22日・23日 全2回（14時間）
 - ・講師：(株)Five V a i 瀧橋 奈緒子 氏
 - ・受講者：11名
- ③「若手社員ステップアップ研修」
 - ・実施日：令和6年10月25日（7時間）
 - ・講師：(株)Five V a i 瀧橋 奈緒子 氏
 - ・受講者：21名
- ④「管理者研修」
 - ・実施日：令和6年10月9日・10日 全2回（14時間）
 - ・講師：(株)Five V a i 大坪 タカ 氏
 - ・受講者：18名

2) 職能別講座 (1 講座)

① 「機械保全技能検定準備講座」

- ・実施日：令和6年11月8日・9日・30日 全3回 (18時間)
- ・講師：山形航空電子(株) 松井 朗 氏 (特級機械保全技能士)
- ・受講者：22名

3) ビジネス・スキルアップ講座 (12 講座)

① 「ハードクレーム対応研修」

- ・実施日：令和6年6月14日 (7時間)
- ・講師：(株)日本マネジメント協会 會田 慶宏 氏
- ・受講者：4名

② 「リーダーのためのレジリエンス研修」

- ・実施日：令和6年6月26日 (6時間)
- ・講師：(株)インソース 日下部 玲子 氏
- ・受講者：7名

③ 「プレイングマネージャー研修」

- ・実施日：令和6年7月17日 (6時間)
- ・講師：(株)インソース 長澤 敦志 氏
- ・受講者：18名

④ 「OJT指導者研修」

- ・実施日：令和6年7月23日 (7時間)
- ・講師：(株)日本マネジメント協会 會田 慶宏 氏
- ・受講者：20名

⑤ 「メンタルヘルスセミナー」

- ・実施日：令和6年9月5日 (6時間)
- ・講師：(一社)新潟県労働衛生医学協会 大西 金吾 氏
- ・受講者：7名

⑥ 「リーダーシップ強化セミナー」

- ・実施日：令和6年9月6日 (6時間)
- ・講師：(一社)新潟県労働衛生医学協会 大西 金吾 氏
- ・受講者：12名

⑦ 「ロジカルシンキング研修」

- ・実施日：令和6年9月12日 (6時間)
- ・講師：(株)インソース 古木 孝典 氏
- ・受講者：12名

⑧ 「わかりやすい説明力向上研修」

- ・実施日：令和6年9月18日 (7時間)
- ・講師：(株)Five V a i 池田 絵里 氏
- ・受講者：21名

⑨ 「コーチング研修」

- ・実施日：令和6年10月8日 (7時間)
- ・講師：(株)Five V a i 大坪 タカ 氏
- ・受講者：8名

⑩「行動経済学を活用した部下指導研修」

- ・実施日：令和6年11月6日（6時間）
- ・講師：(株)インソース 後藤 正子 氏
- ・受講者：12名

⑪「データベース入門」

- ・実施日：令和6年6月3日～7月11日 全12回（30時間）
- ・講師：(有)マルチソフト 工藤 良男 氏
- ・受講者：4名

⑫「EXCELマクロとVBAプログラミング」

- ・実施日：令和6年8月26日～10月10日 全12回（30時間）
- ・講師：(有)マルチソフト 工藤 良男 氏
- ・受講者：4名

(2) 企業研修助成事業

中小企業が主体的に行う人材育成の取り組みを支援し、地域における人材の育成と産業の活性化を目的に、鶴岡市内の中小企業が研修を実施するための経費の一部を助成した。

- ・助成事業者：(株)赤川農機

(3) 新社会人スタートセミナーの開催

4月就職予定の高校3年生を対象に、新しい職場への定着と早期離職防止をはかり、社会生活の基本知識、ビジネスマナー、基礎的職業能力、生活設計等を身につけるためのセミナーを開催した。

1)「新社会人の基礎講座」

- ・実施日：1回目/令和7年2月17日午前、2回目/2月17日午後（各2.5時間）
- ・講師：(株)メルサ 専務取締役 鈴木 奈智子 氏（キャリアカウンセラー）
- ・受講者：1回目/52名、2回目/47名

2)「コミュニケーション・スキルアップ講座」

- ・実施日：1回目/令和7年2月18日午前、2回目/2月18日午後（各2.5時間）
- ・講師：俳優・セミナー講師 今田 由美子 氏
- ・受講者：1回目/43名、2回目/24名

3)「製造・生産現場の基礎講座」

- ・実施日：令和7年2月19日午後（2.5時間）
- ・講師：庄内地域産業振興センター プロジェクト推進シニアコーディネーター 蓬田 邦彦
- ・受講者：48名

4)「実践的ビジネス・接客マナー講座」

- ・実施日：令和7年2月20日午前（2.5時間）
- ・講師：(株)荘内銀行 接遇インストラクター 須佐 恵美 氏
- ・受講者：50名

3 産学共同研究等促進支援事業

3-1 バイオクラスター形成促進事業（山形県バイオクラスター形成促進事業）

（1）産学官共同研究コーディネート活動の実施

1）コーディネート体制整備事業

慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶應先端研）を中心とした学術研究機関、公設試験研究機関等の情報の収集や連携の強化に努め、県内企業を訪問してバイオ研究の成果や技術シーズを紹介するとともに、ヒアリングやアンケート調査により企業の課題やニーズの探索、新技術・新商品開発等の情報収集を行い、共同研究プロジェクト構築に向けたコーディネート活動を実施した。

- ・コーディネーター配置 2名
- ・訪問実績 県内企業 55社、大学・公設試等 18機関、行政・支援機関 42機関団体

2）先端バイオテクノロジー活用基盤強化事業

研究員を配置して慶應先端研の研究やバイオ技術事業化支援助成事業の一部について共同研究を支援する等、バイオ研究成果の活用をすすめる活動を実施した。

- ・研究員配置 2名
- ・研究支援 バイオ技術事業化支援事業に係る共同研究 12件
*（「3-1(3) 共同研究シーズ事業化支援事業」に記載）

（2）産学官研究交流会等の開催

バイオ研究成果を活用した産学官連携の取り組みを広く周知し、県内企業と研究機関との新たな共同研究プロジェクトの創出や県民の理解醸成等を目的にセミナーを開催した。

＜やまがたバイオサイエンスセミナー＞

- ・実施日：令和6年12月11日
- ・内 容：○基調講演 「鶴岡サイエンスパークの最新情報」

慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 荒川 和晴 氏

○バイオクラスター形成促進事業における共同研究事例発表

「庄内鴨の高品質化と地域資源の飼料活用の可能性探索」

（有）三井農場

代表取締役 三井 朗 氏

「メタボローム解析を活用した新規きのこ菌床の開発」

農業組合法人小国さんたけ工房 代表理事 渡邊 拓磨 氏

「乳酸発酵大豆タンパクの腸内環境への影響分析と商品開発」

（株）食の力コーポレーション

代表取締役 福原 和輝 氏

「食品分析におけるメタボローム解析」

慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任助教 小倉 立己 氏

- ・会 場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール
- ・参加者：100人（内オンライン37人）

（3）共同研究シーズ事業化支援事業

バイオ技術事業化促進事業

慶應先端研との共同研究や、その成果を活用して事業化等に取り組む県内企業等を対象に事業を公募し、研究開発事業費の一部を助成金交付により支援した。

- ・公募期間：令和5年11月～令和6年1月
- ・採択事業：12件、助成金総額 11,101千円

【シーズ探索型 採択 10 件】 継続 4 件、新規 6 件

	助成事業名	交付先	助成金額
①	真空蒸発乾燥機を用いた山形県産植物の新商品開発	(株)森の学校	500 千円
②	これまでにない風味のコーヒー（バレルエイジドコーヒー等）の製造技術の探索	(株)東北萬国社	479 千円
③	メタボローム解析による高品質なみその醸造条件及び醸造微生物の探索	(株)丸十大屋	472 千円
④	培養肉生産用培地開発のための基礎的研究（食品由来の培地成分の探索）	日東ベスト(株)	333 千円
⑤	地域資源を飼料活用した鯉の高品質化によるブランド鯉の開発	(有)高橋鯉屋	500 千円
⑥	青果物に対するガス置換技術による影響分析と品質保持期間の延長	山形酸素(株) (山形市)	1,000 千円
⑦	高品質ワイン製造の為にワイン用ブドウ「鶴岡甲州」の特性把握	エルサンワイナリー松ヶ岡(株) (鶴岡市)	626 千円
⑧	医療で利用が期待される発酵食品の開発	櫛引農工連 (鶴岡市)	444 千円
⑨	「柿酢」製造過程の物質変化の把握と残渣の活用可能性の探索	(株)みどりサービス (酒田市)	513 千円
⑩	魚類干物の最適な製造条件の確立	山形県漁業協同組合	318 千円

【事業化推進型 採択 2 件】 継続 0 件、新規 2 件

⑪	「メタボローム解析を活用した鶏肉加工品の開発」	(株)アイオイ (鮭川村)	1,429 千円
12	RNA リカーゼ PF1615 をモデル抗体とした生成型の抗体医薬品創薬 AI の構築	(株)Molucure	5,000 千円

(4) がんメタボローム研究推進支援事業

メタボローム解析技術を活用したがんの研究を推進し、研究成果を活用した地域振興を図るため、国立がん研究センター及び慶應義塾大学先端生命科学研究所と連携して、国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室において、次の事業を実施した。

1) 事業推進体制

① がん地域医療研究連携協議会の開催

- ・開催日：令和 7 年 3 月 13 日（木）
- ・会 場：W e b 開催

② がん地域医療研究推進委員会の開催

- ・開催日：令和 6 年 12 月 26 日（木）
- ・会 場：鶴岡市先端研究産業支援センター

2) 研究プロジェクトの推進

国立がん研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所、庄内地域産業振興センターの3者で共同研究契約を締結し、2つの研究チーム(研究員2名、研究補助員5名配置)において、がんに関するメタボローム解析を633検体行った。また、蓄積してある解析データのうち、662サンプルについて、代謝経路図や理解しやすい図表を作成しデータベース化を図った。

① 代謝物解析研究 (チームリーダー：牧野嶋秀樹)

発がんを誘導する代謝産物やがん細胞に特有な代謝産物・代謝経路を明らかにし、有効な新規治療法や創薬の開発につながる研究を推進した。

② がん遺伝子産物解析研究 (チームリーダー：横山明彦)

がんの発症に関わるMYCというタンパク質と代謝の関係性を明らかにし、白血病等の新たな創薬、診断法の開発を目指した。住友ファーマ(株)との共同研究で開発を進めている急性白血病治療薬の第1相・第2相の臨床試験を継続するとともに、適応拡大を目指した臨床開発研究を進めた。

3) 外部機関との共同研究

【継続】

① 住友ファーマ(株)(大阪市)

- ・研究課題：抗がん剤の適用拡大に関する研究
- ・実施期間：平成31年3月1日～令和7年3月31日（今後継続の予定）

② 山形大学医学部(山形市)・鶴岡市立荘内病院

- ・研究課題：泌尿器に関する腫瘍の組織を用いた代謝解析と治療予後を予測する代謝バイオマーカー検索
- ・実施期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日

③ MOLCURE (川崎市)

- ・研究課題：抗体医薬品による間質性肺炎等の毒性を低減する新たな抗体作製技術の開発
- ・実施機関：令和5年4月1日～令和7年5月31日

④ 山形大学医学部 (山形市)

- ・課題研究：骨肉腫および軟骨肉腫細胞株のメタボローム解析
- ・実施機関：令和5年7月1日～令和8年3月31日

【新規】

① 千葉大学医学部附属病院

- ・研究課題：肝胆膵癌における生体検体を用いた腫瘍細胞と腫瘍微小感興に関する探索的研究
- ・実施期間：令和6年4月5日～令和8年3月31日

② 櫛引農村工業農業協同組合連合会(鶴岡市)

- ・研究課題：医療で利用が期待される発酵食品の開発
- ・実施期間：令和6年4月1日～令和7年2月28日

③ 株みどりサービス (酒田市)

- ・研究課題：「柿酢」製造過程の物質変化の把握と残渣の活用可能性の探索
- ・実施期間：令和6年4月1日～令和7年2月28日

④ 株高研 (東京都)

- ・研究課題：3次元培養を用いた代謝産物プロファイルの構築
- ・実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

⑤ 国立長寿医療研究センター (愛知県)

- ・研究課題：サルコペニアに関連する代謝産物のメタボローム解析
- ・実施期間：令和6年6月1日～令和8年3月31日

【委託研究】

① 委託者：大塚製薬(株)

- ・研究課題：ヒトにおけるケンフェロール摂取後に変化する体内代謝物の探索
- ・実施機関：令和6年4月1日～令和6年12月31日

【包括協定】

① (株)高研(東京都)

- ・目的：健康寿命の延伸を目指して、医療や健康づくり・特に細胞培養におけるコラーゲン担体の有効性をもとに、人材育成、地域連携等について、相互に協力し、双方の発展と充実に寄与する連携を推進する
- ・実施期間：令和3年11月1日～令和7年3月31日

4) 論文発表

① iScience

- ・掲載日：令和6年4月19日
- ・題目：The winged helix domain of MORF binds CpG islands and the TAZ2 domain of p300
(横山チーム)

② Biochemical and Biophysical Research Communications

- ・掲載日：令和6年6月25日
- ・題目：The γ -glutamyl cycle serves as an amino acids supply system in colorectal cancer organoids under chronic hypoxia
(牧野嶋チーム)

③ FEBS open bio

- ・掲載日：令和6年7月19日
- ・題目：The role of cytidine 5'-triphosphate synthetase 1 in metabolic rewiring during epithelial-to-mesenchymal transition in non-small-cell lung cancer.
(牧野嶋チーム)

④ BBA-Gene Regulatory Mechanisms

- ・掲載日：令和6年9月
- ・題目：HBO1, a MYSTERIOUS KAT and its links to cancer

(横山チーム)

⑤ Nature

- ・掲載日：令和7年1月22日
- ・題目：Immune evasion through mitochondrial transfer in the tumour microenvironment.
(牧野嶋チーム)

5) 学会発表

① 第6回がんと代謝研究会・若手の会

- ・会期：令和6年5月16日～17日
- ・演題：乳がん細胞における核酸再利用経路と細胞外成分の評価(太田研究補助員)

② 第19回血液学者若手研究勉強会(麒麟塾)

- ・会期：令和6年6月29日

- ・演題：MOZ/ENL complex is recruiting factor of leukemic AF10 fusion proteins
(小俣研究員)
- ③ 2024Van Andel Institute Epigenetics Symposium(US)
 - ・会期：令和6年7月7日～13日
 - ・演題：ウイルス腫瘍および白血病における ENL の分子機能 (横山先生)
- ④ 第10回がんと代謝研究会
 - ・会期：令和6年8月1日～2日
 - ・演題：3D 培養モデルにおけるがん代謝表現型の評価 (田畑研究員)
- ⑤ 第12回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会
 - ・会期：令和6年8月24日
 - ・演題：白血病における MEN1 遺伝子産物の機能と新規治療法の開発 (横山先生)
- ⑥ 第83回日本癌学会学術総会
 - ・会期：令和6年9月18～21日
 - ・演題：三次元培養がん細胞の代謝表現型 (田畑研究員)
- ⑦ 第29回造血器腫瘍研究会
 - ・会期：令和6年11月21日～22日
 - ・演題：Wilms 腫瘍関連性 ENL 変異体と MOZ/MORF 及び DOT1L
による発がんメカニズム (小俣研究員)
タンパク質間相互作用を介した HOXA9 による白血病発症メカニズム (藤井研究員)
- ⑧ 第29回日本ライソゾーム研究会
 - ・会期：令和6年11月29日
 - ・演題：細胞におけるファブリー病関連遺伝子の発現解析と糖脂質 Gb3 の解析
(後藤特別研修生)
- ⑨ The Myeloid Precursor meeting
 - ・会期：令和6年12月5日
 - ・演題：Roles of MOZ/MORF KAT and DOT1L KMT in Oncogenesis (横山先生)
- ⑩ 第25回菅原・大西記念癌治療増感シンポジウム
 - ・会期：令和7年2月1日～2日
 - ・演題：メタボローム解析による3D 培養がん細胞の評価 (田畑研究員)
- ⑪ 第9回築地キャンパス若手職員研究発表会
 - ・会期：令和7年2月20日
 - ・演題：Wilms 腫瘍関連性 ENL 変異体と MOZ/MORF 及び DOT1L
による発がんメカニズム (小俣研究員)
タンパク質間相互作用を介した HOXA9 による白血病発症メカニズム (藤井研究員)

6) がん地域医療体制・がん地域医療モデル構築に向けた取り組み

① オンライン診療システムの実践と検証

令和2年11月から、東病院の専門医による「がん相談外来」を毎月1回行っており、令和7年3月末時点で延べ155名の患者さんに利用いただいた。状況に応じて、「がん相談外来」をご利用いただいた患者さんを東病院へ紹介し、令和7年3月末時点で計23名の患者さんの紹介を行っている。また、12名の方がオンライン診療を利用されており、東病院の医師による遠隔での診療を受けている。

② 遠隔アシスト手術の実践と検証

令和4年12月に第1例目となる「遠隔アシスト手術」を実施した。これは全国的にも先進的な取組であり、地方でより高度ながん手術を身体的負担や経済的負担を軽減させながら実施できるものとして期待されている。令和7年3月末時点で外科23件、婦人科8件の計31件の実績。この取組は医師や看護師などの人材確保にも効果がみられる。また、学会にてこれらの取組を荘内病院の医師が発表し、優秀演題賞を受賞した。

7) 成果を活用した地域振興の推進

① 第5回がんメタボロミクスセミナーの開催

・実施日：令和6年10月21日

・会場：マリカ東館庄内産業振興センター研修室

・テーマ：「がんと栄養」

・講師

国立がん研究センター栄養管理室長 須永将広

演題：「がんと食について」

鶴岡市立荘内病院栄養科副科長 富樫博子

演題：「よりおいしい病院食を育てたい」

～クリニカルフード事業始めました～

・試食会

料理：鶴岡荘内病院栄養科

「がん治療中の食欲がわからない、食べられないときの工夫」

提供協力企業による栄養補助食品

・参加者：会場参加 66名 (on-site 50名、On-line16名)

② 第12回NCC-TMCセミナーの開催

・実施日：令和6年11月21日

・会場：鶴岡市先端研究産業支援センター

・テーマ：ゼブラフィッシュを用いた神経科学研究とヒト疾患研究

・講師：国立遺伝学研究所遺伝形質研究系発生遺伝学研究室教授 川上 浩一

・参加者：70名

③ 第29回造血器腫瘍研究会の開催

・実施日：令和6年11月21日～22日

・会場：鶴岡市先端研究産業支援センター

・内容：造血器腫瘍に関する基礎研究・応用研究に関し30名が発表

・参加者：70名

8) 慶應先端研特別研修生の受入れ

平成29年度から慶應先端研特別研修生を受入れ、「将来、博士号をとって世界的な研究者になりたい」という大きな夢を持った高校生を全面的に支援。令和6年度は、前年度に引き続き酒田東高校2年生を受入れ、細胞内における糖脂質GB3の蓄積と局在の研究について支援した。

※高校生バイオサミット(8月21～23日)で研究発表し2年連続で審査員特別賞を受賞。

3-2 成長型中小企業等研究開発支援事業

中小企業等が大学等と連携し、事業化に向けた研究開発を国が支援する成長型中小企業等研究開発支援事業補助金を活用し、研究開発及び事業化を図る地域企業、研究機関と共同体を構成し、事業管理機関として研究開発の推進を支援した。

- ① 共同体：インセムズテクノロジーズ(株)、(株)飯塚製作所、慶應義塾大学
テーマ：統合シースレスキャピラリー電気泳動－質量分析システムの開発

研究内容：Bolt-on型キャピラリー電気泳動システムのベータ型装置を完成させた。
この開発においては、筐体、電流制御部、空気圧制御部、配管部分の工夫により小型軽量化と制御部の可搬性を達成した。

研究期間：令和4年度～令和6年度

補助金額：29,498千円（令和6年度）

- ② 共同体：(株)メタジェン、東京科学大学

テーマ：AIによる素材が腸内環境へ与える影響評価システムの開発

研究内容：腸活製品開発の効率化を目指し、素材が腸内環境へ与える影響を予測するAIの開発を行う

研究期間：令和6年度～令和8年度

補助金額：35,018千円（令和6年度）

4 伝統工芸技術伝承・活用促進支援事業

4-1 伝統工芸技術保存事業

地域伝統工芸のひとつである「竹塗り漆器」の振興と技術伝承のため結成していた、鶴岡竹塗り同好会が活動を縮小したため、支援には至らなかった。

Ⅱ 収益事業

1 施設管理運営事業

指定管理者として利用者の利便性と窓口サービスの向上等を心がけ、施設の効率的な管理運営を行った。

○庄内産業振興センター施設利用状況（マリカ西館：市民ホール等、マリカ東館：研修室等）

施設別 月別	マリカ西館				マリカ東館						合計
	ホール	大会議室	小会議室1	小会議室2	展示室	研修室1	研修室2	研修室3	研修室4	和室	
4月	0	3	0	0	1	12	13	7	17	3	56
5月	0	1	0	0	0	6	9	4	13	0	33
6月	2	3	3	0	3	14	14	1	20	2	62
7月	5	3	7	0	0	8	10	5	15	2	55
8月	2	0	1	0	1	16	12	3	17	0	52
9月	1	1	1	0	4	19	11	2	16	0	55
10月	3	2	1	0	0	14	14	1	20	0	55
11月	0	1	0	0	3	17	13	8	13	0	55
12月	0	1	0	0	1	10	10	3	23	0	48
1月	2	0	0	0	1	6	6	8	13	0	36
2月	6	6	5	0	3	12	8	9	19	4	72
3月	3	3	0	0	0	11	12	2	18	1	50
合計	24	24	18	0	17	145	132	53	204	12	629

Ⅲ 法人運営事業

1 理事会・評議員会の開催状況

公益財団法人庄内地域産業振興センター定款第19条及び第37条に基づき、理事長が招集又は決議事項を提案した理事会及び評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

- 1) 理事会
- | | | |
|-----------|------|---------------------------|
| 第1回定時理事会 | 議第1号 | 令和5年度 事業報告及び収支決算の承認について |
| 令和6年5月22日 | 議第2号 | 令和6年度 定時評議員会の招集について |
| 出席理事 6名 | | |
| 出席監事 2名 | | |
| 第2回定時理事会 | 議第1号 | 令和7年度 事業計画書及び収支予算書の承認について |
| 令和7年3月28日 | 議第2号 | 給与規程の一部改正について |
| 出席理事 5名 | 議第3号 | 評議員会へ提出する理事候補者名簿について |
| | 議第4号 | 事務局長の任免について |
| 第1回臨時理事会 | 議第1号 | 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について |
| 令和6年6月12日 | | |
| 決議の省略 | | |

第2回臨時理事会 議第1号 令和6年度収支補正予算書の承認について
 令和6年9月4日 議第2号 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について
 決議の省略

第3回臨時理事会 議第1号 就業規程の一部改正について
 令和5年10月3日 議第2号 給与規程の一部改正について
 決議の省略

2) 評議員会 定時評議員会 議第1号 令和5年度 事業報告について
 令和5年6月19日 議第2号 令和5年度 収支決算の承認について
 出席評議員 9名 議第3号 令和6年度 事業計画書及び収支予算書の報告について
 出席理事 5名 議第4号 評議員の選任について
 出席監事 2名

第1回臨時評議員会 議第1号 理事の選任について
 令和6年4月16日
 決議の省略

第2回臨時評議員会 議第1号 評議員の選任について
 令和6年9月26日 議第2号 令和6年度収支補正予算書の承認について
 決議の省略

3) 監事監査 令和6年5月15日 令和5年度 事業報告書・決算報告書の監査業務

2 評議員及び理事・監事の異動

<評議員>

・就任 令和6年 6月 成澤 剛 (出羽商工会長)
 令和6年 6月 渡部 徹 (山形大学農学部長)
 令和6年 9月 保科 互 (鶴岡市農業共同組合代表理事組合長)
 ・辞任 令和6年 6月 上野 隆一 (前 出羽商工会長)
 令和6年 6月 村山 秀樹 (前 山形大学農学部長)
 令和6年 6月 上野 茂一 (前 鶴岡市農業共同組合代表理事組合長)

<理事>

・就任 令和6年 4月 本間 元毅 (荘内銀行常務執行役員)
 ・辞任 令和6年 3月 近藤 司 (荘内銀行執行役員)

3 組織・職員体制（令和6年3月31日現在）

常勤役員(常務理事) 1名、職員 20名、人材派遣 2名 計 23名

<組織図>

